



## 成分

可給態リン酸 (P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>) ..... 4%  
 水溶性カリウム (K<sub>2</sub>O) ..... 20%  
 カルシウム (Ca) ..... 14%  
 硫黄 (S)..... 7%

## OxyCalについて

植物へ栄養素として高効率なカルシウム、カリウム、リン酸、酸素と炭素化合物を供給

## 働き

広範囲で抗酸化化合物の働きを促進

## 利点

1. 梅雨、夏、初秋に有効なカリウム、カルシウムと酸素を供給します。
2. 特に葉面のストレスに効果があります。
3. 対ストレスに高い効果のあるカリウムが含まれています。

## 効果的な使用法

### 土壌

10アールあたり450~1350 gを使用。効果を保証するラベル表示に従う

### 葉面

10アールあたり250~670 g。使用割合は水量に依存する  
 使用頻度及び量は作物の必要量に応じる  
 希釈倍率:200~500倍

**注意事項**：タンクミックスする際は、以下のようになる。

混合についての順序(混合適正テストをバケツではやらないで下さい。)

- ①最初に水をタンクに注入する。
- ②消泡剤を混ぜる。
- ③オキシカルを静かに入れる。
- ④水温が上がり、多数の泡が発生する。(化学反応)
- ⑤上の化学反応が静まったら混合は終了。
- ⑥他の資材をpHの高い順に入れる。(殺菌、殺虫剤)も。

細胞は植物の構造的、機能的、生物学的な基本単位です。

## 関連用語

**抗酸化物質(作用)** - 活性酸素による細胞障害への効果を弱めたり、活性酸素自体を消去したりする効果を持った化合物またはその作用。

**カルシウム** - 土壌の団粒化、および植物体内において細胞壁の強靭化に必須の栄養素。

**酸化ストレス** - 植物体内に活性酸素が蓄積されることで起きる。過剰な活性酸素によって植物内の細胞が傷つけられることで、病害などのリスクが増大する。

**酸素** - 植物体内において抗酸化物質の生産に関わる。

**活性酸素(フリーラジカル)** - 反応性の高い酸素化合物の総称。植物体内において細胞に作用し、細胞にダメージ(劣化および破壊)を与える原因となる。

**リン酸** - 植物体内においてエネルギーの生産、細胞分裂促進に関わる。

**カリウム** - 植物体内において水と栄養素の輸送に関わる。ストレス対応に必須の栄養素で、60種類以上の酵素を活性化する。

**植物栄養素と抗酸化** - 植物体内の栄養バランスを保つことで、植物体内において抗酸化物質の生産(量および質)が促進される。

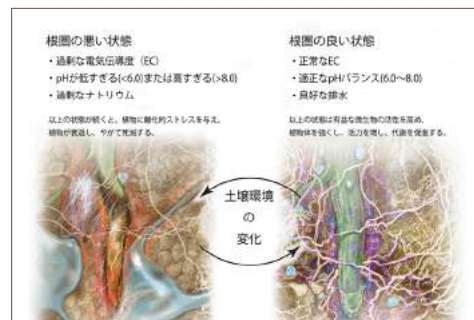
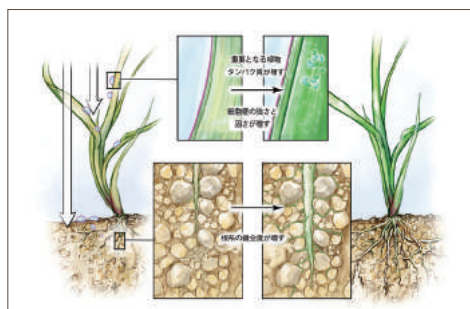
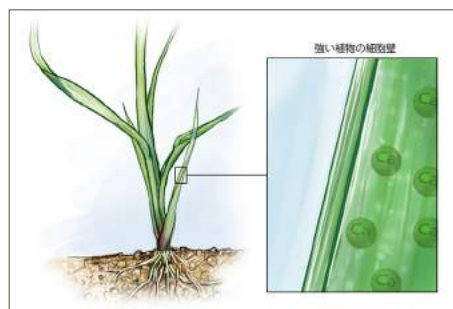


Illustration © Alison E. Burke/Cassio Lynn